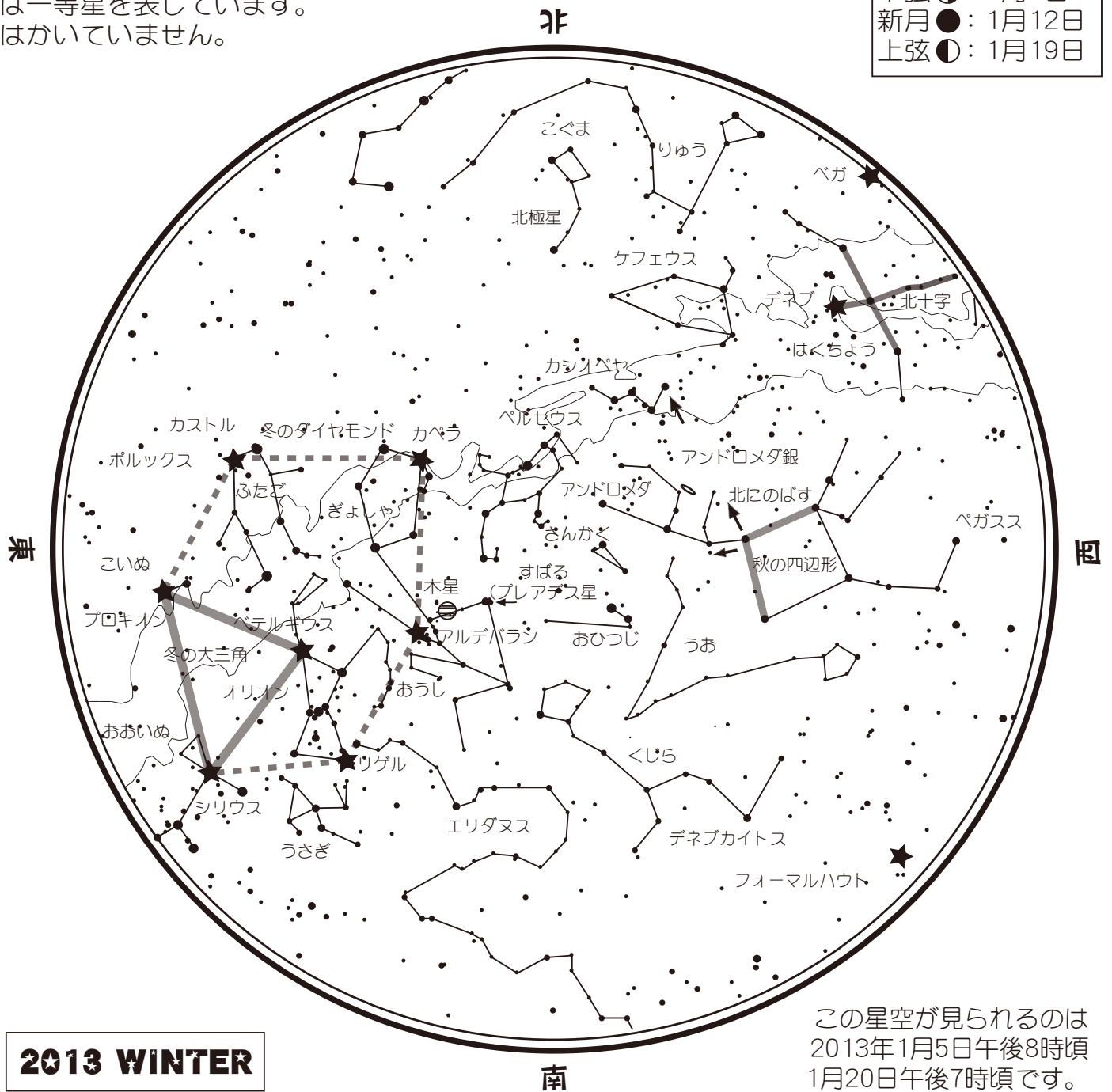


# ★ 姫路で見る 1 月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
 この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
 ★は一等星を表しています。  
 月はかいていません。

下弦 ☾ : 1月5日  
 新月 ☽ : 1月12日  
 上弦 ☽ : 1月19日



**2013 WINTER**

この星空が見られるのは  
 2013年1月5日午後8時頃  
 1月20日午後7時頃です。

冬の星空は、7つの一等星に、太陽系の惑星「木星」が加わって、とてもにぎやかです。

木星は午後6時頃東の空で、おうし座のアルデバランと並んで輝きます。木星に負けず目立って見えるのは一等星のシリウスです。全天で最も明るい一等星で、おおいぬ座の口元で輝きます。木星とシリウスの間にはリボンの様な形のオリオン座が見えます。オリオン座は2つの一等星を持ち、ベテルギウスはオレンジに、リゲルは青白く輝きます。シリウスとベテルギウス、こいぬ座のプロキオンを線でつなぐと「冬の大三角」のできあがりです。ぎよしゃ座のカペラとふたご座のポルックスも見つけたら「冬のダイヤモンド」を作ってみましょう。

東の空のにぎやかさとは対照的に、西の空には秋の星座たちがひっそりと輝きます。ペガサス座の胴体にあたる「秋の四辺形」から、アンドロメダ座やカシオペア座を探してみましょう。

今年も彗星をはじめ、様々な天文現象があります。お天気に恵まれる素晴らしい一年になりますように。

姫路科学館プラネタリウムは休演中です  
 2013年3月16日にリニューアルオープンします！お楽しみに☆